



障害者110番事業研修会の模様

障害者110番事業研修会は、中央障害者社会参加推進センターが主催となり、全国に設置されている障害者110番事業の相談担当者等を対象に、担当者間の交流や相談技術の研鑽などを目的に年1回開催されています。研修会前半は、講演「職場定着のための取り組み」を、藤尾健二さん（NPO法人ワークス未来千葉、千葉障害者就業支援キャリアセンター長）を招いて行いました。藤尾さんは、障害者の就労と生活に関する相談支援を一体的に行える機関として平成14年から設置された、障害

7月5日、今年度の障害者110番事業研修会が全国社会福祉協議会会議室（東京都千代田区）で開催され、障害者雇用に関する講演と、グループに分かれてワークシヨップを行いました。参加者は56人です。

障害者の職場定着についての講演など

障害者110番事業研修会



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
デアダクビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

者就業・生活支援センター（通称「ナカポツセンター」）での経験と実績を踏まえ、障害者雇用のこれまでの経過と今後について、分かりやすく説明いただきました。とくに平成9年の知的障害者の雇用義務化を大きな転換点として施策が展開してきたこと、今後は、平成30年に雇用義務化された精神障害者に対する支援と、重度障害者の雇用が大きな課題となってくることに触れ、現在、全国で334箇所までにまで整備された「ナカポツセンター」を、福祉圏域の障害者雇用の中核を担う機関のひとつとして、ぜひ積極的に活用してほしいと呼びかけました。後半は、阿部一彦日身連会長（中央障害者社会参加推進センター長）を進行役に、7つのグループに分かれてワークシヨップを行いました。各グループは与えられたテーマ（学校、交通機関、住居、公共施設、就労、スポーツ文化芸術、災害）をもとに、架空の相談事例を作成、その後、その事例解決について別のグループが検討を行い



藤尾健二氏

発表するという内容でした。事例を作るという作業に最初はとまどいを見せていた参加者の皆さんも、話し合いを重ねるうちに内容が深まり、時間いっぱいまで活発な意見が交わされる充実した内容となりました。「ナカポツセンター」の役割が分かり、今後の相談に活かせると感じた。「事例の作成にあたり、色々な方々の視点をすべて大変参考になった」などのご意見をいただき、多くの参加者の皆さんにとって相談技術のスキルアップにつながる、貴重な機会となりました。



グループ討議の模様